2006 年 3 月 31 日

各　　位

会　社　名　**アステラス製薬株式会社**
代　表　者　代表取締役社長　竹中　登一
コード番号　４５０３
（URL　　http://www.astellas.com/jp)
東証・大証・名証（各第一部）、札幌
決　算　期　3月
問合わせ先　広報部長　　田中　昭弘
Tel：（０３）３２４４－３２０１

アステラス製薬、一般用医薬品事業子会社「ゼファーマ」全株式を第一三共へ譲渡

アステラス製薬株式会社（社長：竹中　登一、以下「アステラス製薬」）と第一三共株式会社（社長：庄田　隆、以下「第一三共」）は、一般用医薬品事業を行っているアステラス製薬の 100%子会社であるゼファーマ株式会社（社長：大江　方二、以下「ゼファーマ社」）の全株式を第一三共に譲渡することについて合意に達し、本日株式譲渡契約を締結しましたので、お知らせします。

ゼファーマ社は、2004年10月1日旧山之内製薬株式会社と旧藤沢薬品工業株式会社それぞれの一般用医薬品事業を統合して設立されました。発足当初よりの事業の収益化という目標は達成していますが、国内一般用医薬品市場における競争力強化という点では規模的にも充分なレベルには達していません。アステラス製薬は、医療用医薬品へ経営資源を集中していくことで企業価値の持続的向上を目指しており、グループ内におけるゼファーマ社の戦略的意義を検討した結果、譲渡することが望ましいとの決定に至ったもので、このたび第一三共と最終合意いたしました。なお、第一三共への譲渡に際して、ゼファーマ社の経営陣及び従業員の雇用は継続されることになります。

本契約に基づき、当社は株式譲渡の対価として、株式譲渡日に現金 235 億円を受取り、また、ゼファーマ社が保有する現金等の調整額は後日追加的に現金で受取ります。株式譲渡日は 4 月 13 日の予定です。なお、アステラス製薬はゼファーマ社株式の譲渡益約 200 億円を 2007 年 3 月期決算において特別利益として計上する見込みです。

［ゼファーマ社の概要]
商　　号：ゼファーマ株式会社
代表取締役社長：大江　方二
本 社 所 在 地：東京都中央区日本橋本町 2-7-1
設 立 年 月 日：2004 年 10 月 1 日
事　業　内　容：医薬品、医薬部外品、化粧品、食品等の開発・販売
決　　算　　期：3 月 31 日
従　業　員　数：197 名（2006 年 3 月 31 日現在）
資　　本　　金：300 百万円
株　　式：アステラス製薬株式会社 100%出資
売　　上　　高：224 億円（2005 年 3 月期換算）
主　要　製　品：　胃薬（ガスター10)、総合感冒薬（プレコール、カコナール)、
　　皮膚用薬（マキロン、オイラックス、ピロエース)、
　　抗アレルギー剤（エージーアイズ／エージーノーズ）

以　上